

## 令和元年度 歯周病予防事業実施結果

### 令和元年度実施事項

1. 歯科医院へのポスター、リーフレット配布
2. 歯科医師、歯科衛生士へのアンケート調査
3. 第4回小樽市健口講座

### 実施内容

1. ポスター1枚とリーフレット30枚を、各歯科医師会員へ配布した。  
リーフレットは各医院で自由に使用してもらうようにした。
2. 年度末に歯科医師、歯科衛生士へ簡単なアンケートを行った。

#### アンケート結果について

##### (1) 配布及び回収数

全歯科医師会員（77歯科医院）、及び歯科衛生士に配布したが、各歯科医院の歯科衛生士数が不明なため、総数は不明。

回収されたのは、 歯科医師 20人  
                                歯科衛生士 24人  
                                歯科助手 3人                                  合計 47人

##### (2) リーフレットの使用について（重複回答）

待合室などに設置し、自由に取れるようにした。	26件
説明の際に用いた。	20件
ほとんど使用しなかった。	12件
その他	1件

##### (3) リーフレットの評価（点数）

最高点を10点とする

項目	わかりやすさ	見やすさ	ボリューム	使いやすさ
最高点	10	10	10	10
平均点	7.6	7.7	7.5	7.3
最低点	2	4	4	3

##### (4) リーフレットについての意見や感想

###### 1) 良い点

わかりやすく使いやすい。

内容が伝わりやすく、ブラッシングの動機づけに良い。

図があってわかりやすい。

見やすい。

説明しやすい。

## 2) 悪い点

内容は充実しているが高齢者には難しい。歯科衛生士の説明が必要。

ボリュームが多すぎる。

説明時間が取れない。

悪玉歯周病菌の三角の図が分かりにくい。

## 3) 意見

歯ブラシと歯間ブラシの併用を強調するとよい。

歯周病が不治の病であると認識してもらうようにする。

メンテナンスの重要性が伝わる内容を希望する。

毎年テーマを変えて作成してはどうか。

歯周病による骨吸収の図があるとよい。

歯周病を治療しないことで起こる合併症について載せる。

歯周病を放置するとどうなるかを強調してはどうか。

歯周病になるとどうなるか、写真で具体的に示す。

歯周病が進行し、歯数が減少した写真があるとよい。

歯周病の全身へのリスクや詳しい病気についての説明を載せる。

歯周病と全身の健康との関係を載せる。

歯周病管理中の患者に、年2回の検診でよいと誤解を与える。

## 4) その他

前回のリーフレットのほうが良い。

待っている間に患者が見ていた。

### 3. 第4回小樽市健口講座

日時：令和元年10月24日（木）午後1時30分より

場所：いなきたコミュニティセンター

参加者数：15名。

#### (1) 内容

1) 講演「見直してみよう。口腔ケアの大切さ」

講師 あかり歯科オフィス 院長 山口大樹先生

2) オーラルフレイル予防に役立つ運動      あいうべ体操  
講師      保健所歯科衛生士

(2) 参加者アンケート結果

参加者 15 名のうち、アンケート回収数は 13 枚

① 内容のわかりやすさ

分かりやすい	12
分かりにくい	0
どちらともいえない	1

〔記入事項〕 ゆっくり話していたのでわかりやすいなど。

② 内容の面白さ

面白かった	10
つまらなかった	0
どちらともいえない	2

〔記入事項〕 施設での口腔ケアの様子など、歯の大切さがわかった。

③ 新たな発見はありましたか

新たな気づきがあった	11
すでに知っていることばかりだった	1
どちらともいえない	0

〔記入事項〕 周術期の話が良く分かった。

口腔ケアの有無による肺炎の発症率の違い。

④ 今後実施していきたいことはありますか

ある	11
ない	0
どちらともいえない	1

〔記入事項〕 ほぼ全員があいうべ体操と口腔ケアを揚げた。

⑤ 自由記載

歯の大切さを再認識した。

あいうべ体操の正しいやり方を知った。

話が長かったので、聞き手とコミュニケーションをとって行ってほしい。